



最初にお読みください

CentreCOM® AR740 リリースノート

この度は、CentreCOM AR740 をお買いあげいただき誠にありがとうございました。このリリースノートは、取扱説明書（J613-M2971-00 Rev.C）とコマンドリファレンス（613-000215 Rev.B）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初によくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.6.8-05

2 本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン 2.6.7 PL0 から 2.6.8-05 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。各機能の詳細については、「CentreCOM AR740 コマンドリファレンス 2.6」（Rev.B）をご覧ください。

2.1 MSS クランプの動作設定

 参照「コマンドリファレンス」 / 「PPP」

PPPoE インターフェース上における MSS クランプ（インターフェースの MTU に応じて、TCP ヘッダー内の Maximum Segment Size オプションの値を書き換える機能）の動作設定が可能になりました。設定は CREATE/SET PPP コマンドに追加された MSSHEADER パラメーターで行います。

3 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.6.7 PL0 から 2.6.8-05 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

運用・管理

- 3.1 MAIL コマンド実行時、メールエクスチェンジャー（MX）の IP アドレスを取得できず、メールを送信できないことがあるという事象を改善しました。

IP

- 3.2 オプション付き IP パケットのフラグメント化処理時にレポートすることがありましたが、これを修正しました。

BGP-4

- 3.3 BGP-4 においてレンジが指定されたインターフェースを物理的にダウンさせるとシステムがレポートするという事象を改善しました。

